



2023.2.22 瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

遊びながら身につける

11日に開催しましたゆうぎ会には、お出かけくださりましてありがとうございました。事前に手紙で当日の進め方についてお知らせしましたが、皆様快くご協力くださり、無事に終えることができましたこと、心より感謝申し上げます。

学年やクラスごとのユニークさが表現されており、子どもたちの1年の成長をご覧いただけたことと思います。「舞台に出て発表する」ということは、我々大人でも恥ずかしくてうまくいかないことがあり、少し引込み思案のお子さんは、とても勇気がいるゆうぎ会だったと思います。でも、子どもたちは本当によく頑張りました。

瀬戸ひなごでは、保護者様によく見えるようにと、幕が開くと舞台の前まで出て来て楽器演奏します。実は総練習の時、年少クラスはほとんど並ぶことができず、ばらばらでいつまで経っても演奏が始まりませんでした。そこで自分の場所を覚えさせるために、ゲームをしました。それは何か、というと・・・。

やっと先生が正しい位置に並べた時に、「はい、今からその場所を覚えましょう。誰の隣か、誰の後ろか前か、お友だちを覚えましたか?では今から、ホールの後ろの壁にタッチして、今いる場所まで戻ってきましょう。では、よーいドン!」子どもたちは喜んで走って行って戻ってきます。もちろん1回だけでは出来ません。もう一度、ちゃんと正しい位置に立たせてから、「もう1回行くよ。よーいドン!」子どもたちはキャーキャー喜んで走って戻ってきます。ゲーム感覚で遊んでいるうちに、自分の場所を覚えさせるのです。3回で自分の場所に立てるようになりました。

これは日常の保育でも、幼稚園での片付けの時、「片付けなさい」と口を酸っぱくして大きい声で言うのではなく、ちょっと遊び風に変えてみて、「どのグループが上手かな?どのおもちゃが早くお家に帰れるかな?〇〇さん、早いね。」などと声をかけると、あっという間に片付きます。ご家庭でもちょっとした時に遊び感覚を取り入れると、子どもたちはとっても張り切ると思います。試してみてくださいはいかがでしょうか。



もうすぐマスクが...

政府は3月13日からのマスク着用について「個人の判断」にすると決定しましたが、世論調査では「変わらずつける」と答えた人が43%、「外す場面を増やす」が49%で、「つけない」は6%に留まっているそうです。愛知県は卒業式でのマスクの取り扱いについて「外すことを基本」とする通知を県内の学校に出しました。児童、生徒、教職員についてはマスクを外し、校歌を歌うときはマスクを着用するという方針で、保護者にはマスクの着用を求めるとのことです。

「個人の判断」というのが、日本人が一番苦手なのではないでしょうか。日本人の性格と海外の方の性格を比べると、海外の方は「YES or NO」を明確に伝えますが、日本人は「YESかNO」のどちらかに決めることができずはっきりしないそうです。「みんながYESなら自分も」という方が多く、今回のマスクも「個人の判断」となると、どうしたらよいのか迷う人が多いと思います。ある支部の幼稚園園長会でも、マスクについての議題でなかなか結論が出なかったと聞きました。



さて、我が園はどうするのか。やはり他園の状況も見ながら、またコロナの感染状況の行方も把握し、先生たちとしっかり話し合って決定したいと思います。ご理解をお願い申し上げます。

個人懇談会を終えて

懇談会にご参加くださりましてありがとうございました。1年のお子様の成長を担任と振り返っていただけたと思います。頂いたご意見は次年度に活かしていくよう努力いたします。

